

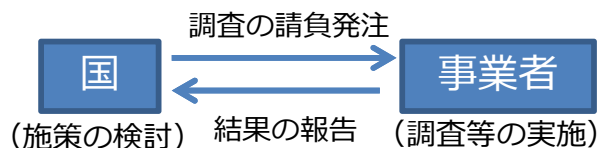


背景・目的

*Strategic Approach to International Chemicals Management : 国際的な化学物質管理に関する戦略的アプローチ

- 2002年9月、持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)で定められた実施計画において、2020年までに化学物質の製造と使用による人の健康と環境への著しい悪影響を最小化することを目指すとの目標(WSSD 2020年目標)を設定。
- 2006年2月、第1回国際化学物質管理会議(ICCM1)がドバイで開催され、WSSD 2020年目標達成のための方途としてサイカムを採用。2012年9月「化学物質と環境に関する政策対話」での議論を踏まえ、化学物質対策に関する我が国の今後の戦略を示すものとして、環境省が関係各省の施策を取りまとめ、政府として「SAICM国内実施計画」を策定。
- 2016年中に整理される第四次環境基本計画の点検結果を踏まえ、2017年度に行われる予定の第五次環境基本計画改定の内容について検討を行う(SAICM国内実施計画についても必要に応じて改定を行う。)

事業スキーム



事業概要

○環境基本計画及びSAICM国内実施計画の推進

化学物質対策の基本となる計画の点検結果を踏まえつつ環境省が、関係各省と協議し、計画の見直しに向けた検討を進める。

○諸外国の動向に関する調査

各国及び国際機関における化学物質制度や、ポスト2020年目標に関する動向等を調査する。

○「化学物質と環境に関する政策対話」の実施

市民、労働者、事業者、行政、学識経験者等の化学物質に関係する多様な主体が参加し、化学物質と環境に関する政策に係る合意形成を目指す。



H29年度

第五次環境基本計画に向けた検討

- ・平成28年度の第四次環境基本計画の点検を踏まえ、第五次環境基本計画について検討。環境側面からの化学物質対策の包括性の向上を目指す。
- ・その他、各制度の連携やライフサイクル全体の管理、調査・研究、モニタリングの推進等について、事例に加え、海外の取組状況を参考に検討を進める。

期待される効果

- 化学物質リスクの最小化を目指すWSSD2020年目標の達成
- 2020年以降の国際的化學物質管理に関する枠組み構築への貢献